



おにぎり通信

2011年9月3日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

みなさんにお目にかかる日比谷公園の第一花壇の近くに直径1メートル以上あるドーナツ型の石が置かれています。ミクロネシアがまだ日本の信託統治領だったころ、ヤップ島支庁から大正14(1925)年に寄贈された石の貨幣だそうです。小さいもので直径6センチ



くらいから、3メートルのものまであり、貨幣として価値は、滑らかか粗いか、形のよしあし、運搬の難易などによって決められたといえます。日比谷公園のは長径1.35メートル、短径1メートルのほぼ円形で、大正13(1924)年ころには、現地で1000円くらいで通用していたそうです。

☆ 8月22日 福祉行動報告

Aさん(62歳) 生活保護を申請されました。

次回の福祉行動：9月5日(月)、東京駅丸の内北口に朝8時30分までに

集合です。「東京駅丸の内北口」と書いてある看板の下、丸の内警察署

東京駅交番近く『びゅうプラザ前』付近でお待ちください

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所ま

で、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行

います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の

言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしょ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

ふくしまだいいちげんぱつ ふくしまけんふたばぐんおおくままちざいじゅう さとうゆうてい のうぎょう かじん
福島第一原発がある福島県双葉郡大熊町在住の佐藤祐禎さんは、農業のかたわら歌人
としても活躍されてきました。佐藤さんが初めて歌集『青白き光』を発行したのは200
4年のこと。そのとき73歳だった佐藤さんは、つぎように詠んでいます。

は あおじろ ひかり ふか ひ げんしろうろつき はくあれつ
いつ爆ぜむ青白き光を深く秘め原子炉六基の白垂列なる

は しんぱい ふこう ねんご ことし げんじつ
「いつ爆ぜる」とかという心配は、不幸にも、7年後の今年、現実になってしまいました。

ほうしゃのうちきゅうおんだんか と げんぱつようご きみ げき い
放射能地球温暖化いづれ取ると原発擁護の君は激し言ふ

げんぱつも まち あわ きみし でんき い
原発持つ町の哀れを君知らず「電気どうする」とたやすく言ふ

まん いち ほうしゃのうおせん こっこく すす ちきゅうおんだんか
万が一しかないであろう放射能汚染と、刻々と進む地球温暖化のどちらをとるのだ。

おんだんかぼうし げんぱつ せきゆしげん かぎ げんぱつ
温暖化防止のためには原発はいたしかたない。石油資源には限りがあるのだから、原発が

なかったら「電気はどうなる」という論理によって、原発が是認される。そして、

じもと つか きゅうひゃくまん やまこ とお しゅとけん ゆ
地元では使へぬ九百万キロワット山越え遠く首都圏へ行く

とうきょうでんりょく ねん せつりつらい じしゃ じぎょうちいき げんしりょくはつでんしよ ほゆう
東京電力は1951年の設立以来、自社の「事業地域」に原子力発電所を保有してい

ません。福島も東北電力の事業地域。福島原子力発電所でつくられた電気は首都圏へと送

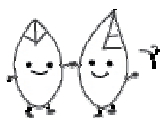
られつづけてきたのです。そして、佐藤さんはずっと原発の町の未来を愁いてきました。

こ い え げんぱつ そら ふやじょう かがや
この子らはいつまで生き得む原発の空は不夜城のごとく輝く

のう つ げんぱつじこつづ まち こ い
農などは継がずともよし原発事故続くこの町されと子に言ふ

はんげんぱつ うた よ さとう げんぱつじこ ふくしまけんがい ひなん き
反原発の歌を詠みつづけてきた佐藤さん。原発事故で福島県外に避難されたと聞いて

いますが、81歳の今、どこで何を想っておられるのでしょうか。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田